

平成27年度第1回長崎県スポーツ推進審議会会議録（要旨）

<p>開催日時</p> <p>開催場所</p> <p>出席委員</p> <p>出席職員</p>	<p>平成27年10月30日（金） 10：30～11：50</p> <p>セントヒル長崎2階絹笠の間</p> <p>小原委員、野田（憲）委員、野田（章）委員、中野委員、松山委員、浅井委員、吉村委員、土岐委員、古川委員、山浦委員、太田委員、上村委員、小関委員、高森委員、藤田委員</p> <p>宮下スポーツ振興課長、 国保・健康増進課笠田補佐、長寿社会課森川参事 園田障害福祉課長、城川主任、 体育保健課安藤参事、 スポーツ振興課丸田参事、桑宮総括課長補佐、森係長、加藤係長 公益財団法人長崎県体育協会 山口課長</p>
<p>会の成立</p> <p>開会</p> <p>あいさつ</p> <p>議長選出</p>	<p>委員20名 出席者15名</p> <p>宮下 スポーツ振興課長 あいさつ（省略）</p> <p>会長を議長に選出</p>
<p>協議事項</p>	<p>（1）ながさきスポーツビジョン（素案）について</p> <p>（事務局） スポーツ振興課より資料に基づき説明</p> <p>（議長） 意見・質問等はないか。</p> <p>（委員） 「2．子どもの体力向上・スポーツ活動の充実」について、運動する子どものケガやメンタルのサポートについては、どのように考えているのか</p> <p>（事務局） 指導がとれる体制づくりとスポーツ医・科学との連携が必要と考えている。</p> <p>（委員） （スポーツ少年団等の試合数について） スポーツ少年団が開催する大会は、年1回程度。 競技団体主催の試合数もそれほど多くない。 熱心な指導者や保護者が試合を組み立て、年間の試合数が増えている状況。</p> <p>（委員） 県体育協会が所管している、スポーツ少年団から競技団体へは、指導者にたいして、事故防止のDVDなどで啓発を行っている</p> <p>（委員） 障害者スポーツに関して、2点提案がある。 （1点目）障害者スポーツのすその拡大のために、障害者スポーツ協会の組織強化の文言追加をお願いしたい。 （2点目）「3．競技スポーツの振興」の部分に障害者スポーツに関する記載がないので、是非付け加えてほしい。</p>

(事務局)

(1点目について)

計画全体のバランスがあるので、担当課と協議のうえ検討する。

(2点目について)

障害者スポーツについては、「1.生涯スポーツの推進」のなかの「(4)障害者スポーツの推進」に含まれている。

「3.競技スポーツの振興」については、健常者と分け隔てなく掲載している。

(委員)

障害者スポーツには3つの要素がある。リハビリ、生涯スポーツを通じた社会進出、及び競技力を重視したスポーツ。競技力が高い選手については、さらに伸ばしていくべきと考える。

スポーツ基本法が制定され、スポーツ庁が設置されるなど、5年後には、いろいろと状況が変化していくと思う。

是非、「3.競技スポーツの振興」の中に障害者スポーツについて言及してもらいたい。

(事務局)

前向きに検討する。

(会長)

知事部局と教育委員会で前向きに検討していただきたい。

(委員)

県民体操「がんばらんば体操」について、県と市町で考え方に温度差がある。

県と市町で協議してもらいたい。

(委員)

「がんばらんば体操」と「ラジオ体操」の普及についてどのように考えているのか。

(事務局)

「がんばらんば体操」については、今後も普及させていく。

市町担当課長会議や校長会などで普及についてお願いしているところであり、ひきつづき周知をはかっていく。

「ラジオ体操」との兼ね合いについては、利用者の選択の問題であり強制はできない。ケースバイケースですみわけしていきたいと考えている。

県としては、「がんばらんば体操」については、できる限り取り上げて普及に努める。

(委員)

子ども達のスポーツにかんして、指導者の体罰や暴言が目につく。

指導者の体罰や暴言について、県から指導できないのか。

(事務局)

指導者の資質向上に向けた研修会を実施している。

保護者の方からの苦情対応については、日本体育協会へ連絡していただければよい。

所管外となる、無資格の指導者については、いきとどかない部分があるのでご了承いただきたい。

(委員)

体罰根絶の文書が発出されており、高等学校体育連盟では、重たいルールができています。

校長会の折に話をしているが、実態は改善されていない。啓発を続けていくしかない。

(委員)

「2.子どもの体力向上と体育・スポーツ活動の充実」のなかの

「(1)幼児期における運動・スポーツ活動の推進」の「現状と課題」について子どもの発育には、運動が必要と明記すべき。

「(2)「生きる力」の育成を図る体育学習の展開」の「現状と課題」について若い教員の問題提起が必要。

「(2)「生きる力」の育成を図る体育学習の展開」の「施策の方向」についてデジタル教材の中身を具体的に表記したほうがよい。

(事務局)

指摘の件について、検討する。

	<p>(委員) ビジョンへ追加する必要はないが、高齢者スポーツについては、斜面地に居住されている高齢者の方への運動の必要性などを啓発していく視点が必要。</p>
報告・説明事項	<p>(1) 第70回国民体育大会の結果について(説明省略) (2) 各種競技大会における主な成績について(説明省略)</p>
その他	<p>(委員) 来年10月のねんりんピック長崎大会については、600名を超える選手団で臨む。約100億円の経済効果を見込んでいる。 ねんりんピックに対する認知度が低いので、次回の審議会では、ねんりんピック推進課に出席してもらい、進捗状況の報告等をお願いしたい。</p>
あいさつ	<p>宮下 スポーツ振興課長 あいさつ (省略)</p>
閉会	<p>(事務局) 次回の本審議会は平成28年3月頃に開催予定です。</p> <p>11時50分終了</p>

以上

--	--